

\*風に吹かれて\*



7777ai ai

こんにちは～

---

このアルバムをご覧ください、ありがとうございます。  
カンカン照りの休日、高原地帯の涼しさを求めて花公園へ。  
気温が違い過ぎて、肌寒いくらいでした。  
風が吹き小雨降るなか、傘をさしてテクテク・・・。  
写真は雑で今ひとつという感じですが、  
パラパラ眺めていただけたら幸いですー♪



時おり、天地真理さんの歌を聴いて浮かんだ印象を、書きとめています-





雲さんどちらへ～？

---



わあ、登ってきた^^！

---





突風が吹いていて、ヨロヨロ～

ここは、かぶと岩展望所です^^ (阿蘇ミルクロード沿い)

---







くまモンみたい (笑)

---













九重町飯田高原・長者原













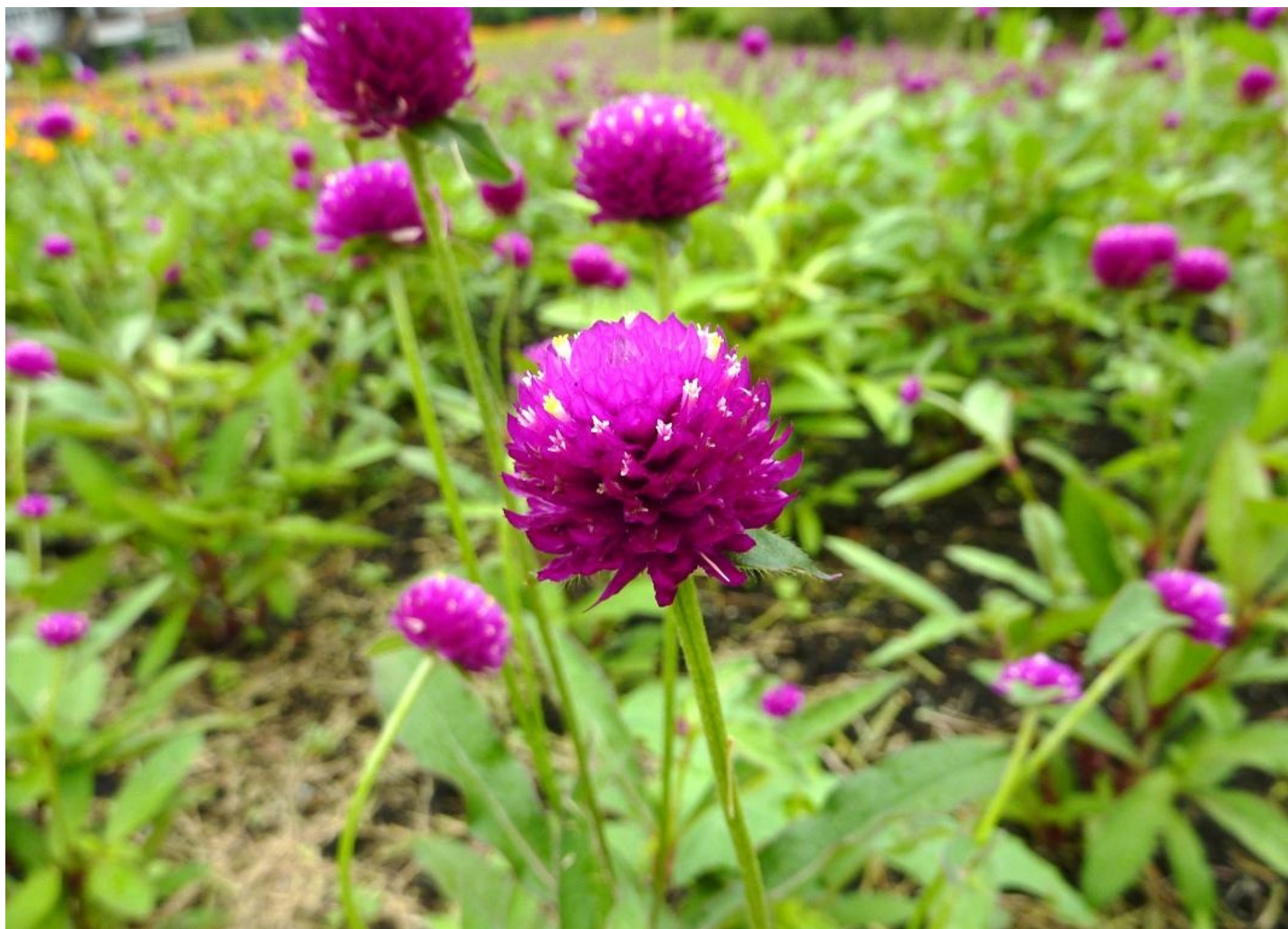
芙蓉（フヨウ）？

---



千日紅（センニチコウ）

---















傘さしてパシャ☆

お花たちはキラキラ！

---









## 天地真理さんの歌声

---

気候の変わり目。

地上に吹く風は、季節ごとの温度や香りで私たちを包みます

心の景色を素直に織りなす、天地真理さんの歌の世界。

まろやかな歌声は、季節の情緒を伝える風のように

聴き手の心を包み、瑞々しい希望へとつなぎますー

永続性を持つ癒しは、豊かな倍音の響きが生む奇跡。

現在「倍音セラピー」が高く支持され、

倍音を豊かに含む声が、人の脳波に変化を起こすことが証明されています。

天地真理さんは、それを実証する歌手の一人だと、言えるでしょう。













みんな、かわいい・・・

---



小ぶりのヒマワリ、きれいだよー

---







風の中にたたずむあなた  
胸の奥に秘めているものはなに？  
せつなさに打ち震えそうな、私の心  
幻でもいい。二人だけの愛を語る  
あなたのギターの音色に、  
ただ抱かれたいだけ・・・

風のなかを彷徨う人たち  
願い事が叶うという「愛の泉」はどこ？  
せつなさに打ち震えそうな、私の心  
幻でもいい。そっと飲み干した時  
あなたのまなざしを瞬感しながら、  
ただ眠りにつきたいだけ・・・

このナンバーは、デビューシングルB面に収録されています。  
純粋性を極めたA面「水色の恋」、本能的な叫びである「風を見た人」。  
対極のイメージは合わせ鏡のよう。



女優みたいな、ヒマワリさん^^

---



葉っぱがヨレヨレになっても、負けないわ

---









約束したモン!! (笑)

---



3色のケイトウ



奥に見えるのは、サルビア畑です











普通の女性の幸せを選んでほしいー  
故郷から届いた手紙には、母の望みが綴られている。  
あたたかい・・・  
けれどお母さん、親の願いに従うことが、  
人生を本当に幸せに生きる事だとは限らないはず。  
心にあてた白い包帯をはずして、木漏れ日の光に映るあの人の背中を  
もう一度私は、追いかけてみたいの・・・

お母さんに語りかけるような素直な歌声に、  
真理さんの自然体の魅力が溢れています。  
時を経て、真理さんは作曲者として、  
最愛の我が子への想いを  
音楽で伝えていらっしゃる事が印象深いですね。

















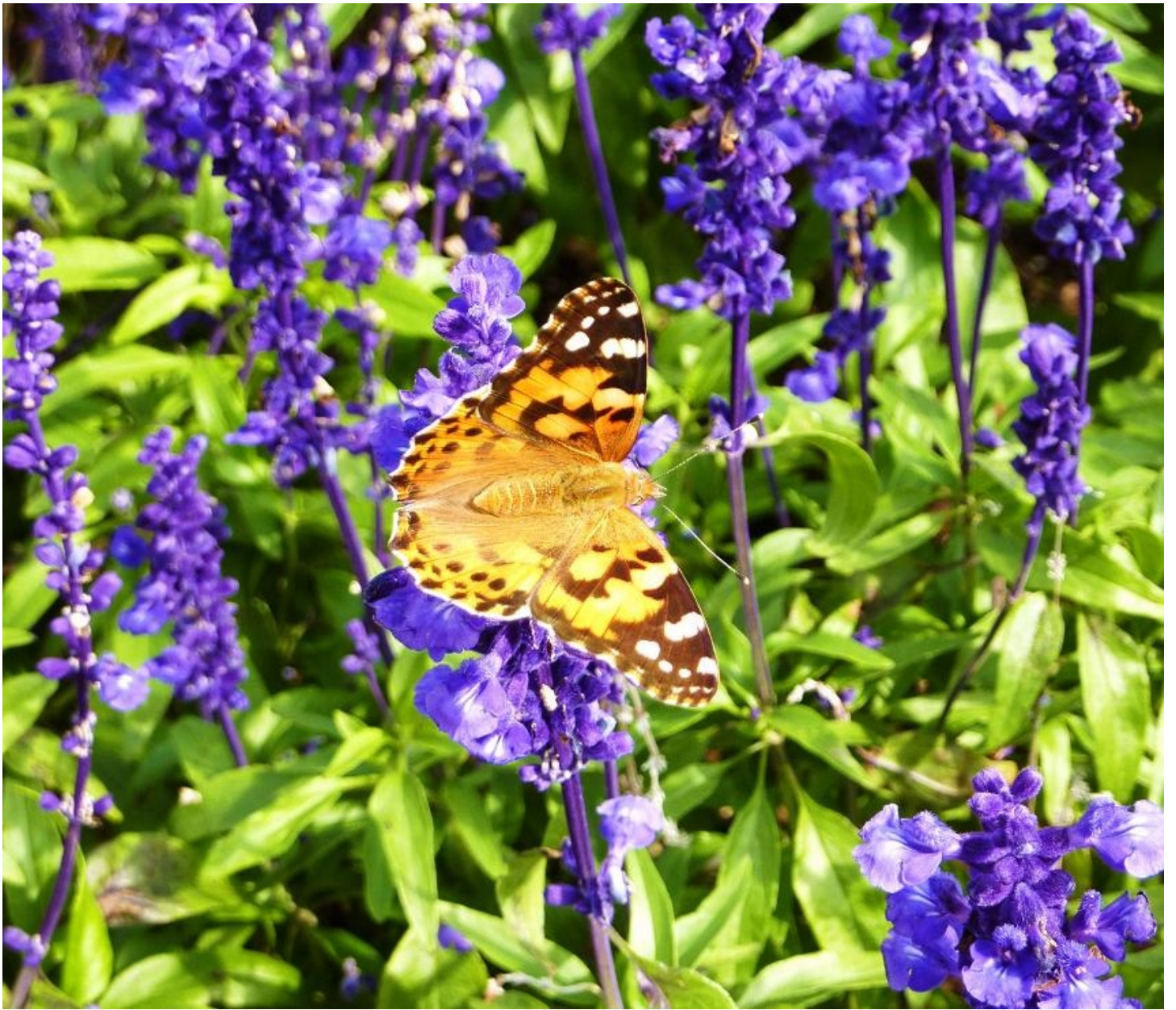








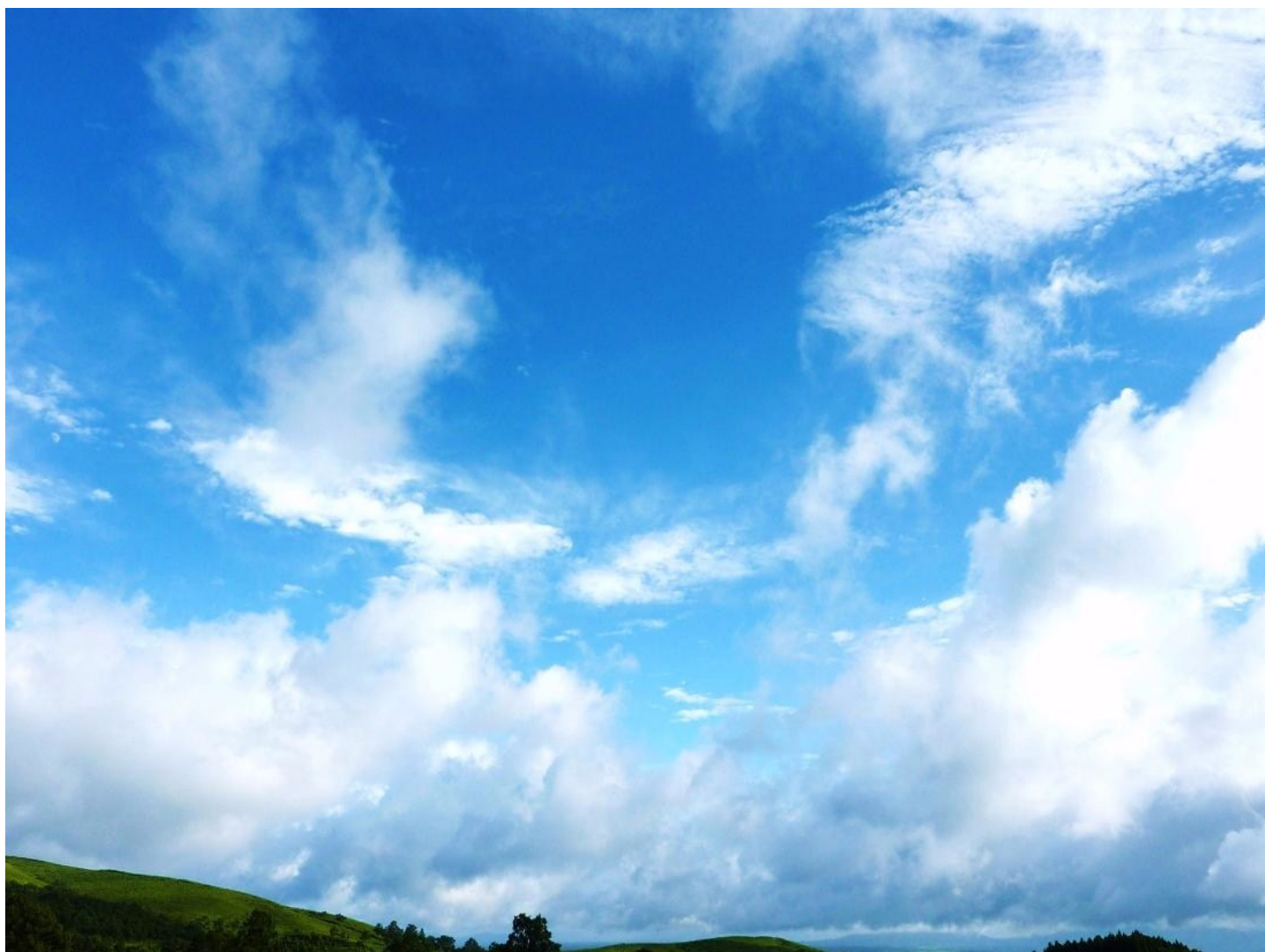






帰り道、雲舞う空だよ～

---















わ〜い〜ゞ(\*´▽`\*)ノ

---















「夏を忘れた海」

天地真理さんの歌のなかで、最も感傷的な作品の一つです。

かつて愛した人との思い出を、青春の理想像として心の奥で大切にしている傾向は、女性より男性の方が強いようですね。この歌に貫かれているものは、純愛。彼への澄んだひたむきな想いを、寄せては返す波にそっと打ち明けている主人公の姿は、繊細な男性の心情を掴むことでしょう。

天地真理さんらしさとは、正直で切ない叫びのなかにも日本女性らしい透明感や、清らかさを備えた歌声と歌唱法に鍵があるようです。この歌は、女性への愛しさと、"一途に想われる喜び"を聴き手に感じさせ、特に男性の心の恋人として存在感の高い作品・・・そのような印象を抱きます。

歌を鑑賞すると、真理さんが当時ご自分の心で描いた海の情景・・・カモメたちの鳴声や、寂しげな波の音が、澄みきった歌声のなかに今も生き生きと伝わってくるようです。

表現力において完成の域に近づいていたように感じますが、アイドルとしての注目度の高さ、またファルセットを使う真理さん独自の歌唱法が、テレビ局のスタジオや、賑やかな野外ライブでは馴染みにくかったと考えられ、歌手としての実力を一般に印象付けることができなかったと想像されます。







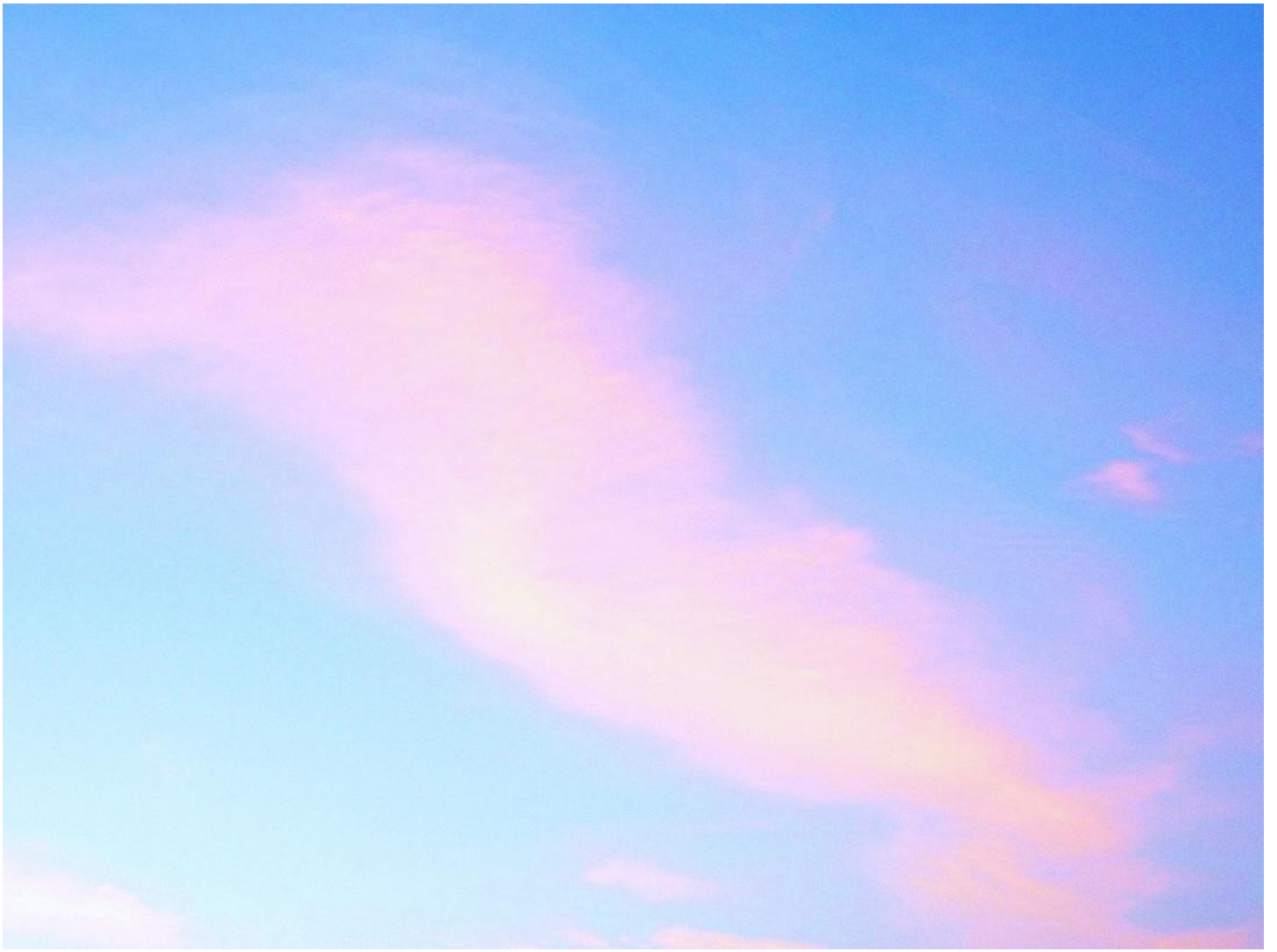












## 夏を忘れた海～ピアノの調べ

---

ファンのお一人、太田忠さまによるピアノのご演奏です。  
深くしっとりとした響きをたたえています。

空を舞うカモメたち、太陽のまぶしさ、波のざわめき、砂浜のぬくもり  
ひと夏の幻のように 過ぎ去っていった彼との日々が、胸に甦る一

物憂げなピアノの音色が、  
砂浜に一人佇む、主人公の横顔を映し出しているようです。

行き交う波のかなたに、空と海が溶け合う水平線がみえる・・・  
透明に輝くあの光が、二人を結ぶ未来の絆だったらいいのに。

「そばにいさせて」 最後になんて言えたなら・・・

波打つように繰り返される、切ない鍵盤のリズム。  
それは季節外れの海に吹く、風の音とかさなって  
こんこんと溢れだす涙を、刻んでいるかのようー

「夏を忘れた海」 ピアノ編曲・演奏 太田忠さん

[http://www.youtube.com/watch?](http://www.youtube.com/watch?v=390EGcBuy0U&list=PLED15999ECDBE2931&index=0&feature=plcp)

[v=390EGcBuy0U&list=PLED15999ECDBE2931&index=0&feature=plcp](http://www.youtube.com/watch?v=390EGcBuy0U&list=PLED15999ECDBE2931&index=0&feature=plcp)

ありがとう。

---



## 風に吹かれて

<http://p.booklog.jp/book/56578>

著者 : 7777ai ai

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/56578>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/56578>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ